

森町 まち・ひと・しごと創生総合戦略 進行管理表

| 基本目標 | 施策の展開方向 | 具体的な施策 | 事業 | 担当課 | 区分 | 平成27年度 の取組実績 | | | | | 平成28年度 の取組方針 | |
|-----------------------------------|----------------|---------------------------|-------|----------------------|------|-----------------|------|------|------|------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| | | | | | | 27年度 | 28年度 | 29年度 | 30年度 | 31年度 | | |
| 1. 「ひと」を育む ～“森”に学び育つ～ | | | | | | | | | | | | |
| 基本指標 | 出生数 | | 保健福祉課 | 基準値 129人 目標値 150人 | 116人 | | | | | | | |
| (1)子育て支援の充実(森町で子どもを育てたいと思えるまちづくり) | ①子育て支援体制の充実 | こども医療費助成事業 | 保健福祉課 | 実績 | B | | | | | | 平成26年4月より入院医療費の自己負担金が無料となり、同内容にて事業実施している。 実績:乳幼児通院113件、602日 小中学生入院45件、318日 乳児入院2214件、3,523日 幼児通院12,440件、19,896日 小中学生通院16,312件、21,229日 平成28年3月議会の一般質問にて「こども医療費無料化と対象年齢拡大」の要望が出され、財政的負担を試算している。 | 平成28年10月から未就学児の通院医療費の自己負担金を無料とし、子育て世帯の経済的負担を軽減する予定。小、中学生については、現状どおり通院4回まで500円の自己負担金あり。 平成28年度予算 役務費(手数料) 4,724千円 扶助費(医療費) 54,029千円 |
| | | 子育て支援センター運営事業の充実 | 保健福祉課 | 実績 | A | | | | | | 毎月(すくすくクラブ(満1歳児+保護者)、(のびのびクラブ(満2歳児+保護者)、森のコアラ広場(森地区以外の5地区に出向き親子の交流の場の提供・子育て相談を行う)を開催している。さらに、子育て相談を随時、子育てセンターにて行っている。 | 昨年度と同様、毎月すくすくクラブ、のびのびクラブ、森のコアラ広場、子育て相談(随時)を行う。 |
| | | 子育て(多子)世帯の経済的負担軽減 | 保健福祉課 | 実績 | B | | | | | | 新生児の出生日において、森町に住所があり、1年以上森町の住民基本台帳に記載されていた期間があり、今後も引き続き町内に居住する意志がある方を対象に新生児1人につき10万円の祝いを交付している。要綱を改正して支給要件の拡大を図った。 実績:107人 10,700千円 | 昨年度同様、出産祝い金を交付予定。今後は、少子化対策の一環として、多子世帯に対しては、金額を変更することも検討が必要。 予算:10万円×140人＝14,000千円 |
| | ②保育・託児環境の充実 | 多様な保育サービスの充実 | 保健福祉課 | 実績 | A | | | | | | 延長保育、特定保育、障害児保育、緊急一時預かりを摩耶、ときわ保育園で実施している。 | 2つの保育園と同様の保育サービスを、森町小規模保育所(もりの保育所)でも提供できるよう、検討していく。 |
| | | 妊娠・出産のための健康づくりと正しい知識の普及 | 保健福祉課 | 実績 | A | | | | | | 6月から子育て支援モバイル事業を開始し、地域に合わせたサービスや実施機関及び予防接種情報を配信することにより、タイムリーに情報を取得できるようになり、育児不安の解消を図った。また、就学前の家庭を対象に子育て情報誌「もりっこ」を配布した。 実績:モバイル登録数 子ども331人 親250人 委託料:1,655,640 円 利用料:324,000円 情報誌配布数:579冊 需用費 942,000円 郵送料 69,000円 3歳までに6か月ごと受ける乳幼児健診・相談にて、育児に関する知識の普及を図っている。 | 妊娠期から子育て期にわたるまでの母子保健や育児に関する相談に対応する子育て世代包括支援センターを創立し、支援が必要な人に対して家庭訪問をする育児支援家庭訪問事業や新生児訪問を実施するなど妊娠・出産・育児に関する相談に応じ、正しい知識の普及を図る。 予算:賃金 1,674千円 需用費 75千円 8月から昨年度導入した子育て支援モバイル事業を妊娠期から利用できる様拡大する予定。 予算:908千円 昨年度同様乳幼児健診・相談での知識の普及は、継続して実施していく。 |
| | | 待機児童ゼロ対策事業 | 保健福祉課 | 実績 | A | | | | | | 定員19名の小規模保育所A型の森町小規模保育所(もりの保育所)を開設したことにより、待機児童数0人を達成することができた。 | 平成28年4月1日時点で待機児童が2人発生したため、保育園の受け入れ体制を強化するため、保育士募集のお知らせを広報もりまち、回覧に掲載し、保育士の確保に努め、待機児童を抑制する。 |
| | | ファミリーサポートセンターの利用促進 | 保健福祉課 | 実績 | B | | | | | | 子育て応援情報誌「もりっこ」を作成し、ファミリーサポートセンターの制度周知を図った。 | 町のHP、広報もりまちにファミリーサポートセンターの利用案内に掲載して広く周知を図る。 |
| KPI | 待機児童ゼロの継続 | | 保健福祉課 | 基準値 0人 目標値 0人 | 0人 | | | | | | | |
| (2)若い世代の結婚・出産に対する意欲喚起 | ①結婚相談・婚活支援 | 希望どおり結婚して家庭を築き子育てができる環境整備 | 保健福祉課 | 実績 | A | | | | | | 小規模保育所A型(定員19名)の森町小規模保育所(もりの保育所)の開設により、家庭を築き、安心して就労が出来る子育て環境を整備した。 | 保育需要を把握し、小規模保育所や放課後児童クラブの新規開設を検討していく。 |
| | | 結婚相談態勢の充実 | 保健福祉課 | 実績 | A | | | | | | 毎月第2日曜日 9:00～11:30 保健福祉センター「機能回復訓練室」にて結婚相談を実施 ①相談件数57件、②お見合い申込件数183件、③②のうちお見合い成立件数55件、④成立件数2件。 森町の登録者数40名(男性33名、女性7名) 結婚相談所の開設により、結婚への相談や出会いの場が提供されている。 | 毎月第2日曜日 9:00～11:30 保健福祉センター「機能回復訓練室」にて結婚相談を実施。 結婚相談所の開設により、結婚への相談や出会いの場を提供していく。 |
| | | イベントの充実 | 保健福祉課 | 実績 | C | | | | | | 結婚相談事業で対応しているため、イベントの開催実績なし。 | 結婚相談を委託している社会福祉協議会とイベントの開催について、検討していく。 |
| | ②若年者への結婚・出産の啓発 | 各種講座・セミナー・イベントの開催 | 保健福祉課 | 実績 | C | | | | | | 結婚相談事業で対応しているため、イベントの開催実績なし。 | 結婚相談を委託している社会福祉協議会とイベントの開催について、検討していく。 |
| | | 子育てや家事などのアドバイザー育成 | 保健福祉課 | 実績 | C | | | | | | 静岡県で実施している子育て支援員と放課後児童支援員の研修に参加。 | 保育士資格の取得を検討している人に、対し、静岡県で実施する研修等の周知を行う。 |
| KPI | 結婚相談者数 | | 保健福祉課 | 基準値 89人 目標値 150人 | 57人 | | | | | | | |

森町 まち・ひと・しごと創生総合戦略 進行管理表

| 基本目標 | 施策の展開方向 | 具体的な施策 | 事業 | 担当課 | 区分 | 進行管理(効果見込) ※基本指標・KPIは、実績値を記入 ※事業ごとの実績欄選択肢 S:計画以上に進捗した A:計画通り進捗した B:概ね計画通り進捗した C:計画通り進捗しなかった | | | | | 平成27年度 の取組実績 | 平成28年度 の取組方針 |
|------|--------------------|--------------------|----------------------------|----------------|----------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------|------|------|------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| | | | | | | 27年度 | 28年度 | 29年度 | 30年度 | 31年度 | | |
| | (3)子どもを守り・育む環境づくり | ①家庭・地域による子育て支援 | 国や県と連携した子育てが社会的に評価される仕組み構築 | 保健福祉課 | 実績 | C | | | | | 児童福祉週間における児童啓発・普及を図る事業の実績なし。 ※児童福祉週間」とは、毎年5月5日の「こどもの日」から1週間のことで、子どもや家庭、子どもの健やかな成長について国民全体で考えることを目的としています。この期間中は、児童福祉の理念を普及・啓発するため、厚生労働省や全国の自治体などがさまざまな事業や行事を行っている。 | 29年度実施に向けて、児童福祉の理念を普及・啓発できるよう、事業や行事を検討する。 |
| | | ②ワークライフバランスの推進 | 男女共同参画社会の推進 | 社会教育課 | 実績 | B | | | | | 平成28年度末の森町男女共同参画計画策定を目指し、第1回策定委員会を2月に実施した。委員会では、第9次総合計画の住民アンケートの結果と国・県・市町の状況説明を実施し、各委員より意見を聴取した。事業実績額は42,000円(報酬のみ) | 今年度末の計画策定に向け、年度内に4回程度策定委員会を開催する予定である。計画案が整い次第、森町議会全員協議会へ諮問を行い、計画を決定する。事業予算案は1,022,000円 |
| | | | 企業への子育て支援への働きかけ・協働 | 企画財政課 保健福祉課 | 実績 | C | | | | | 未実施 県と合同で行った町内企業訪問にて人口減少対策への対応方法を協議した。 | 平成28年度に制度化された企業型保育所を商工会を通じて周知していく。 引続き、企業訪問などで町内企業の考えを聞き取り、現場に即した企業への子育て支援施策の検討をする。 |
| | KPI | ファミリーサポートセンター登録会員数 | 保健福祉課 | | 基準値 147人 目標値 180人 | 104人 | | | | | | |
| | (4)教育力の強化・教育レベルの向上 | ①教育力の強化 | 幼小中一貫教育推進事業 | 学校教育課 | 実績 | A | | | | | 各中学校区の実態、地域性を生かして、研究主題を設定し、組織的・計画的に研究を推進している。各中学校の実践の積み上げにより、「『こころざし』を持ちたくましく生きる子の育成」にむけて、着実に前進している | 各中学校区の実態や地域性を生かして、校区一貫研究会を中心に研究主題を設定し、組織的・計画的に研究を推進する。 研究の推進にあたっては、これまでの成果と課題を踏まえ、指導の系統性・学びの連続性、指導の適時性・独自性を高める。 |
| | | | 英語教育支援事業 | 学校教育課 | 実績 | A | | | | | 日本人教師を補佐し、生きた英語を子どもたちに伝えるとともに、会話の機会を増やしている。英語に触れる機会が増えるとともに、楽しく学べている。 | 前年に引き続き日本人教師を補佐し、生きた英語を子どもたちに伝えるとともに、会話の機会を増やしていきたい。 |
| | | | ICT活用推進事業 | 学校教育課 | 実績 | A | | | | | PC機器の切り替えに伴い、校務支援ソフトやデジタル教科書を導入し、ICT教育の充実と校務の効率化が進んでいる。 | PC機器の取り換え時期を明確にとらえ、順次更新していく。 引き続きICT教育の充実を図っていく。 |
| | | ②きめ細かな教育の推進 | 不登校・いじめ対策事業 | 学校教育課 | 実績 | A | | | | | 不登校・いじめの未然防止、早期発見・早期対応を図るため、児童生徒理解の重要性や日々の人間関係づくり、認知した際の具体的な対応策等についての研修会を実施した。 | 今年度の重点として、不登校児童生徒人数の半減を目標にしている。 4月はじめに、県総合教育センター教育相談班班長を講師として、教頭、生徒指導主任(主事)を対象とした不登校についての研修会を開催する。10月には、各校の取組の具体について共通理解し、自校の取組に生かすための研修会を予定している。 |
| | | | 安心な学校給食の提供 | 学校教育課 | 実績 | A | | | | | 旭が丘中学校区の調理業務等の外部委託を開始し、臨時調理員・配送員の急な欠勤等にも安定した運営が図られるようになった。 | 旭が丘中学校区に引き続き、泉陽中学校区調理業務等も外部業者への委託を開始し、安定した給食運営を図る。また、「森町の学校給食におけるアレルギー対応」を示し、安心・安全な給食の提供につとめる。 |
| | | ③特色ある教育の推進 | 魅力ある学校づくり | 学校教育課 | 実績 | A | | | | | 学校生活の中で、児童生徒にとって多くの時間を有する授業に焦点を当て、魅力ある授業づくりを推進した。教育委員会学校訪問では、授業参観の視点を決めて努力点と課題を具体的に示したり、全国学力学習状況調査を分析し、授業づくりに生かすための研修会を10月に開催したりした。 | 「授業が分かる」と答える児童生徒95%及び90%を目標として設定し、魅力ある授業づくりをさらに推進していく。全国学力学習状況調査の早期対応、結果公表後の分析と取組をさらに推進するために、年2回、6月と9月に研修会を予定している。 |
| | | | 多様な学習機会の提供 | 学校教育課 | 実績 | A | | | | | 外国語指導助手(ALT)を、幼稚園・小中学校に派遣、また地域の豊富な経験や知識を持った方をゲストティーチャーとして授業等で活用した。稲作体験や防災教育の面で、豊かな体験を実現した。また、複式学級のある小学校には支援員を配置し、一人学びの際の指導を充実させた。 | 引き続き、外国語指導助手(ALT)を、幼稚園・小中学校に派遣、また地域の豊富な経験や知識を持った方をゲストティーチャーとして授業等で活用する。 また、複式学級のある小学校には支援員を配置し、一人学びの際の指導を充実させる等の活用について研究する。 |
| | | | 家庭・地域との連携 | 学校教育課 | 実績 | A | | | | | 学校の経営方針等を理解し協力を得るために、PTA総会で学校長より説明したり、学校だより、学校経営書等で、地域にも発信した。また、長期休業前には、学校の指導方針を文書で配布したり、学級懇談会で説明したりして、家庭教育の重要性について働き掛けた。地域には見守りの強化について協力をお願いした。また、学校規模の適正化について、保護者から意見を聞く機会を設定した。 | 学校の経営方針等を理解し協力を得るための方策について研究する。 また、長期休業前に、家庭教育の重要性について働き掛けたり、地域には見守りの強化について協力をお願いしたりする。 |
| | | ④地域の教育環境の充実 | ふるさと教育の充実 | 社会教育課 | 実績 | A | | | | | ・江間家住宅土蔵の保存のための整備を進め、地域教育のための史資料の収集に努めた。 ・合併60周年記念事業の韻文体会において、800余名の作品が応募され、老若男女がこぞって詠句に参じたことは、近年にない地域教育の成果であった。 | ・飯田城・天方城の調査と整備の充実を図るため、近隣の城跡の再調査を進め、散策可能な環境を作る。 ・舞楽の公演や講演会を催し、森町特有の地域文化に対する誇りを伝え、子ども達へ伝承活動の重要性を教えていく。 ・遠州の小京都たる地域の歴史を、講座を通して周知するためのバスツアーを催し、歩け歩け大会等を支援する。 ・指定文化財の修復を進め、新たな指定物件を提案する。 |
| | KPI | 授業の内容がわかると思う小学生の割合 | 学校教育課 | | 基準値 90% 目標値 95% | 86% | | | | | | |
| | KPI | 授業の内容がわかると思う中学生の割合 | 学校教育課 | | 基準値 80% 目標値 90% | 82% | | | | | | |

森町 まち・ひと・しごと創生総合戦略 進行管理表

| 基本目標 | 施策の展開方向 | 具体的な施策 | 事業 | 担当課 | 区分 | 進行管理(効果見込) ※基本指標・KPIは、実績値を記入 ※事業ごとの実績欄選択肢 S:計画以上に進捗した A:計画通り進捗した B:概ね計画通り進捗した C:計画通り進捗しなかった | | | | | 平成27年度 の取組実績 | 平成28年度 の取組方針 |
|--------------------------------|------------------------------------------|--------------------------|--------------|------------------------------|-----------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------|------|------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------|
| | | | | | | 27年度 | 28年度 | 29年度 | 30年度 | 31年度 | | |
| 2. 「魅力」と「交流」をつくる ～人とふれあう～ | | | | | | | | | | | | |
| 基本指標 | 年間観光入込客数 | | 産業課 | 基準値 1,109,702人 目標値 120万人 | 1,123,281 | | | | | | | |
| (1)定住環境としての魅力向上(住みたいと思えるまちづくり) | ①道路交通環境の改善 | 公共交通政策のあり方研究 | 企画財政課 | 実績 | C | | | | | 平成27年11月25日付けで森町議会議長名で町長宛に要望書が提出される。(町全体のバス運行形態に対する見直し計画案の提出) それに対する調査研究を実施してきた。具体的には、町営バス乗降客に対するアンケート調査の実施、近隣市町の地域公共交通会議への参加など | 4月補正予算に公共交通政策のあり方に対する研究を実施するための調査委託料3,923千円を予算計上し、今年度、各種課題の整理や住民へのアンケート調査の実施、森町地域公共交通会議の開催により各委員より幅広い意見を伺い、意見交換を実施する中で、今後の当町にとってふさわしい公共交通政策のあり方を検討する。 | |
| | ②居住地選択等の支援 | 空き家の利活用方策の検討 | 企画財政課 | 実績 | C | | | | | 空き家希望者に対しての相談業務の実施。 県や県不動産協会、市町で構成される会議等に参加し、情報収集に努めた。 | 近年課題となっている空き家対策推進のため、空き家等現況調査を実施する。この調査結果を基に、今後、特定空き家等への指定による対策や、空き家再生による利活用等の推進を図り、移住促進に取り組む。 | |
| | | 土地区画整理地内の保留地販売促進 | 建設課 | 実績 | A | | | | | 森町天宮土地区画整理組合の保留地販売に対し技術的支援を行った。組合のラジオCMの放送の広告料の一部を支援した。組合作成広告チラシを役場の世帯配布に含めて配布した。 | 森町天宮土地区画整理組合の保留地販売に対し技術的支援を行った。組合作成広告チラシを役場の世帯配布に含めて配布する。 | |
| KPI | 公共交通利用者数 | | 企画財政課 | 基準値 280,993人 目標値 29万人 | 300,450人 | | | | | | | |
| (2)地域資源を活かした交流・集客の創出・拡大 | ①イベント・交流機会の充実 | 遠州の小京都推進を核とした観光地づくり・周遊促進 | 産業課 | 実績 | A | | | | | 小京都の先進地(福島県棚倉市・岐阜県郡上八幡)を視察し、他地域の観光地づくりについて研修した。 | 小京都と呼ばれる先進地を視察し、観光地づくりを研修する。また、遠州の小京都まちづくり推進会議において基本計画を策定し、観光地づくりについての具体的な施策を検討する。 | |
| | | 特産品のブランドをいかした販売促進 | 産業課 | 実績 | B | | | | | 産業祭や森の石松まつり等各種イベントで商工会や農業協同組合等各種団体と連携して特産品のPRを行った。 森町とうもろこしマップを作成し、ホームページに掲載する等とうもろこしの販売促進を行った。 | 商工会や農業協同組合等各種団体と連携して特産品のPRを行う。 | |
| | ②観光資源(自然環境、歴史的文化資産、特産物、森山焼等)の発掘・魅力向上 | 観光情報の発信機能の充実 | 産業課 | 実績 | A | | | | | 森町観光協会のフェイスブックページで観光PRを行った。 森町商工会が運営する森町ポータルサイト「ええら森町」の運営に関して120千円の補助を行った。 | 森町ホームページでの観光情報発信や各種SNSを利用した観光PRを充実させる。 | |
| | | 町並み整備の推進 | 産業課 | 実績 | B | | | | | 小京都の先進地(福島県棚倉市・岐阜県郡上八幡)を視察し、他地域の観光地づくりについて研修した。 | 小京都と呼ばれる先進地を視察し、観光地づくりを研修する。また、遠州の小京都まちづくり推進会議において基本計画を策定し、町並みの整備についても検討する。 | |
| | | 歴史的文化資産(神社仏閣)をいかした観光振興 | 産業課 | 実績 | A | | | | | 森町観光協会主催による観光ウォークや森町観光パンフレット、ポスターの作成等を実施した。 極楽寺のあじさい、小國神社の花しょうぶ、香勝寺のききょうをあわせた花めぐりの周遊ルートでPRした。 | 森町観光協会と連携して神社仏閣の観光PRや遠州の小京都まちづくり推進会議において歴史的文化遺産の観光利用について検討する。 | |
| | ③新東名高速道路・富士山静岡空港をいかした国内外からの誘客とおもてなし体制の充実 | 外国人の観光交流の推進 | 産業課 | 実績 | A | | | | | 5市1町の観光協会で開催される静岡遠州観光ネットワークによる海外セールス事業として台湾、シンガポールへ観光PRを行った。また、英語、中国語バージョンの森町観光パンフレットを作成した。 | 県や西部地区観光協議会、静岡遠州観光ネットワーク等の広域観光推進会議や観光DMO等により外国人観光交流について検討していく。 | |
| | | 民間の力をいかした宿泊及び商業施設整備の促進 | 産業課 | 実績 | B | | | | | 小京都の先進地(福島県棚倉市・岐阜県郡上八幡)を視察し、他地域の民間の力の利用方法について検討した。 | 都市計画と合わせて民間の宿泊施設や商業施設の整備を促進していく 必要がある点が挙げられる。 | |
| KPI | 新東名IC(遠州森町SIC及び森掛川IC)通行量 | | 建設課 | 基準値 1日3,649台 目標値 1日5,000台 | 3,845台 | | | | | | | |
| (3)交流広域圏の形成 | ①周辺市町との連携した産業振興 | 周辺市町との連携充実 | 企画財政課 産業課 | 実績 | B | | | | | 県西部8市1町で構成する遠州広域行政推進会議において、連携可能な事業について協議をしている。 27年度・・・①健康寿命の延伸に向けた連携について ②広域連携による文化財の保護と活用について | 県西部8市1町で連携して広域交流圏形成に向けて、産業振興に取り組む。平成28年度は遠州地域の歴史遺産を活かした広域観光の推進について取り組む。(その経緯としては、平成29年大河ドラマ“おんな城主 直虎”を好機として捉えることができる点、移住定住施策として交流人口の増加も検討する必要がある点が挙げられる。) | |
| | | 広域的ネットワークの形成・推進 | 企画財政課 産業課 | 実績 | B | | | | | 県西部8市1町で構成する遠州広域行政推進会議において、連携可能な事業について協議をしている。 27年度・・・①健康寿命の延伸に向けた連携について ②広域連携による文化財の保護と活用について | 県西部8市1町で連携して広域交流圏形成に向けて、産業振興に取り組む。平成28年度は遠州地域の歴史遺産を活かした広域観光の推進について取り組む。(その経緯としては、平成29年大河ドラマ“おんな城主 直虎”を好機として捉えることができる点、移住定住施策として交流人口の増加も検討する必要がある点が挙げられる。) | |
| | ②友好都市等との連携 | 北海道森町児童生徒友好親善事業 | 学校教育課 | 実績 | A | | | | | 平成27年度は、第14回交流の受け入れの年であった。小学生10名・中学生6名の両町32名と、両町の引率10名及び静岡県森町側スタッフが天方地区のアクティ森・コテージを拠点に3泊4日の日程で、歓迎交流会・合同合宿やバーベキュー活動、ホームステイ等で親善を深めた。 | 平成28年度は第15回目の派遣の年となる。7月29日～8月2日までの日程で親善交流を実施する。交通手段に、往路は北海道新幹線、復路は札幌丘珠空港発富士山静岡空港着のFDA便を活用予定である。 | |

森町 まち・ひと・しごと創生総合戦略 進行管理表

| 基本目標 | 施策の展開方向 | 具体的な施策 | 事業 | 担当課 | 区分 | 進行管理(効果見込) ※基本指標・KPIは、実績値を記入 ※事業ごとの実績欄選択肢 S:計画以上に進捗した A:計画通り進捗した B:概ね計画通り進捗した C:計画通り進捗しなかった | | | | | 平成27年度 の取組実績 | 平成28年度 の取組方針 |
|----------------------|---------------------------|--------------------|---------------------------------------------|-------|--------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------|------|------|------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| | | | | | | 27年度 | 28年度 | 29年度 | 30年度 | 31年度 | | |
| 3. 「しごと」をつくる ～人を活かす～ | | | | 社会教育課 | 実績 | B | | | | | 女性代表者北海道森町派遣事業は、2月4日～7日にかけて4名の研修生が北海道森町を訪れた。事前研修会を4回実施し、出発前には町長を訪問した。事業実績額は236,009円 | 今年度は、北海道森町より女性研修生を迎える年である。時期や人数については未定だが、例年11月頃に実施している。事業予算額は240,000円 |
| | | | 国際交流活動の活発化 | 総務課 | 実績 | B | | | | | 外国団体の視察、ホームステイの受入れ及び外国語の語学講座等を実施する団体に対し、補助金を交付することで、国際交流事業の充実及び推進を図る。 社会教育関係団体補助事業50,000円 | 外国団体の視察、ホームステイの受入れ及び外国語の語学講座等を実施する団体に対し、補助金を交付することで、国際交流事業の充実及び推進を図る。 社会教育関係団体補助事業50,000円 |
| | | | 国際性豊かな人材育成 | 総務課 | 実績 | B | | | | | 同上 | 同上 |
| | KPI | 友好都市年間交流者数 | | 社会教育課 | 基準値 25人 目標値 30人 | 25人 | | | | | | |
| | (4)地域ブランドの創造・魅力向上 | ①地域資源の活用・魅力化 | 産学連携による新商品開発に向けた取組(学校と連携し特産品を活用した新商品の研究・開発) | 産業課 | 実績 | B | | | | | 先進地視察等により他地域の産学連携について検討した。 | 遠州の小京都まちづくり推進会議のメンバーである静岡産業大学准教授とともに遠州の小京都まちづくり基本計画策定時に産学連携による商品開発について検討していく。 |
| | | ②特産品のブランド化・観光交流促進 | 田舎の良さのPR、食・農・健康と連携した観光交流推進 | 産業課 | 実績 | A | | | | | 森町ツーリズム研究会によるイベント「ぶぶふの日」等を実施し、田舎の良さのPRや観光交流の促進を行った。 | 森町ツーリズム研究会の「ぶぶふの日」や商工会の軽トラ市などと連携してアクティ森を中心に田舎の良さや食・農・健康を意識した観光交流を推進する。 |
| | KPI | ブランド化に関する技術提携 | | 産業課 | 基準値 0件 目標値 1件 | 0件 | | | | | | |
| | (5)タウンプロモーションの展開 | ①地域イメージの向上、魅力化 | 町のプロモーションビデオによる情報発信 | 産業課 | 実績 | A | | | | | 平成25年度に森町のプロモーション映像を作成し、森町ホームページにおいて配信している。 | 継続して森町ホームページにおいてプロモーション映像を配信する。 |
| | | | IT環境整備 | 産業課 | 実績 | B | | | | | 先進地視察等により観光地のIT環境について検討した。 | 観光地のWi-Fi環境の整備等IT環境の整備を検討する。 |
| | | | 遠州の小京都推進事業 | 産業課 | 実績 | A | | | | | 平成26年度に遠州の小京都まちづくり推進会議において「遠州の小京都まちづくり基本構想」を策定し、平成27年度には各戸に基本構想のパンフレットを配付した。また、小京都の先進地(福島県棚倉市)を視察し、他地域の観光地づくりについて研修した。 | 遠州の小京都まちづくり推進会議において遠州の小京都まちづくり基本構想を基に具体的な計画として基本計画を策定する。また小京都と呼ばれる先進地を視察し、観光地づくりを研修する。 |
| | | | 「よんない森町、ええら森町！プロジェクト」 | 建設課 | 実績 | S | | | | | ETC車載器設置費補助金交付件数:332件 プロモーション用観光パンフレット:12万5千部印刷 新東名愛知県区間の開通に併せ静岡・愛知両県のSA・PAで森町の観光パンフレットをリーフレットスタンドで配布 新聞広告の掲載 遠州森町スマートICのPR用ラジオCM放送4か月間実施 | 静岡・愛知両県のSAPAで森町の観光パンフレットをリーフレットスタンドで配布を年間をとおし実施 |
| | KPI | 観光協会Facebookアクセス件数 | | 産業課 | 基準値 75,000件 目標値 10万件 | 104,186件 | | | | | | |
| | 3. 「しごと」をつくる ～人を活かす～ | | | | | | | | | | | |
| | 基本指標 | 町内事業所従業員数 | | 税務課 | 基準値 7,000人 目標値 8,000人 | 7,694人 | | | | | | |
| | (1)若者・女性・高齢者などが活躍できる環境づくり | ①若者・女性の活躍促進 | 地域おこし協力隊の受け入れ | 企画財政課 | 実績 | C | | | | | 平成28年度からの地域おこし協力隊受入に向けての調査研究を実施。 関係各課・関係事業所との協議、先進自治体訪問、要綱等の策定等を実施した。 | 地域外の人材を受け入れ、地域協力活動を通じて、その定住・定着を図るとともに、地域力の維持・強化を図ることを目的とした「地域おこし協力隊」の隊員1名を募集し、その活動を支援する。隊員活動時期は8月1日からを予定し、具体的な活動内容は、①SNSを活用した情報発信、②グリーン・ツーリズムの推進を予定している。 |
| | | | 女性の就業支援 | 産業課 | 実績 | B | | | | | 厚生労働省が行う「女性就業支援全国展開事業」での電話・メール等での相談対応や遠州広域行政推進会議、磐田ハローワーク等と連携して女性の就業支援体制を整えた。 | 継続して女性就業支援全国展開事業や遠州広域行政推進会議、ハローワーク等と連携して女性の就業支援体制を整える。 |

森町 まち・ひと・しごと創生総合戦略 進行管理表

| 基本目標 | 施策の展開方向 | 具体的な施策 | 事業 | 担当課 | 区分 | 進行管理(効果見込) ※基本指標・KPIは、実績値を記入 ※事業ごとの実績欄選択肢 S:計画以上に進捗した A:計画通り進捗した B:概ね計画通り進捗した C:計画通り進捗しなかった | | | | | 平成27年度 の取組実績 | 平成28年度 の取組方針 |
|------|---------------------|--------------|-----------------------------|------------------|--------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------|------|------|------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| | | | | | | 27年度 | 28年度 | 29年度 | 30年度 | 31年度 | | |
| | | ②高齢者の活躍の場づくり | 地域での活躍の場の創出(シルバー人材センター地域活動) | 保健福祉課 | 実績 | A | | | | | 60歳以上の健康で働く意欲がある会員の相互協力を基本に働く場の拡大に取り組む「袋井・森地域シルバー人材センター」の運営費の一部を補助(2,869,533円)している。 | 平成27年度に引き続き「袋井・森地域シルバー人材センター」の運営費の一部を補助する。 |
| | KPI | 地域おこし協力隊受入数 | 企画財政課 | 基準値 0件 目標値 2件 | | 0件 | | | | | | |
| | (2)働きやすさの向上 | ①子育て世代への就労支援 | 男女がともにいきいきと働くことができる職場づくりの推進 | 保健福祉課 | 実績 | A | | | | | 小規模保育所A型(定員19名)の森町小規模保育所(もりの保育所)を開設により、家庭を築き、安心して就労が出来る子育て環境を整備した。 | 保育需要を把握し、小規模保育所や放課後児童クラブの新規開設を検討していく。 |
| | | ②就労環境の向上 | 就労支援の充実 | 保健福祉課 | 実績 | A | | | | | 小規模保育所A型(定員19名)の森町小規模保育所(もりの保育所)を開設により、家庭を築き、安心して就労が出来る子育て環境を整備した。 | 保育需要を把握し、小規模保育所や放課後児童クラブの新規開設を検討していく。 |
| | | | 共稼ぎができる環境づくり | 保健福祉課 | 実績 | A | | | | | 小規模保育所A型(定員19名)の森町小規模保育所(もりの保育所)を開設により、家庭を築き、安心して就労が出来る子育て環境を整備した。 | 保育需要を把握し、小規模保育所や放課後児童クラブの新規開設を検討していく。 |
| | KPI | 事業所内保育所数 | | 保健福祉課 | 基準値 2施設 目標値 3施設 | 2施設 | | | | | | |
| | (3)地場産業・既存産業の振興・活性化 | ①農林業の活性化 | 青年就農給付金事業 | 産業課 | 実績 | A | | | | | 国の青年就農給付金事業に基づき、当町管内では4名の新規就農者が交付の対象者となっており、それぞれ前期・後期に分け、半期75万円が給付されている。平成26年度には国の補正予算を受け、2名の平成27年度の前期分各75万円と1名の前・後期分150万円が前倒し給付されたため、平成27年度中は1名の前・後期分150万円と2名の後期分各75万円の計300万円の給付を行った。 | 平成28年度においては、現在認定され対象となっている4名を対象として前・後期各75万円、満額で計600万円の給付を行う予定。 また、対象者の就農後のフォローアップとして県農林事務所やJAと連携し、巡回営農指導など支援活動を行って行く。 |
| | | | 認定農業者等育成支援事業 | 産業課 | 実績 | A | | | | | 当町の平成27年度末における認定農業者は6法人と62人の個人で計68経営体。年度中に前回の認定から5年を向かえた12名に再認定計画の策定支援を行ったほか、2名の新規認定の支援を行った。認定農業者が施設整備を行う場合には有利な農業制度資金や補助事業など利用できる場合がある。当該年度中に相談を受けた茶園管理機の導入にあたっては平成28年度の経営体育成支援事業(3/10補助)や近代化資金の活用支援を行った。 また、認定農業者を主として自立経営を目指す農家で組織される森町農林業経営者会の事務局をとして年間を通し、講演会・先進地視察研修・町産業祭や全国メロンサミットにおいて農産物のPR活動など行った。 | 平成28年度当初の認定農業者68経営体のうち、9名が前回の認定より5年を経過するので、県農林事務所とも協力し再認定計画の作成支援を行う。さらに提出された計画については、森町農業技術指導連絡協議会と町農業委員会の審査を経て町長による認定の事務手続きを行う。新規の認定についてもおなじく支援を行う。 補助事業等の利用に関しては、経営体育成支援事業の利用による茶園管理機導入を支援していく。また、新規の事業要望にあっては個々の案件毎に利用できる補助事業や農業制度資金を案内する。 また、年間を通し農林業経営者会の活動を通して情報提供など行う。 |
| | | | 6次産業化推進事業 | 産業課 | 実績 | B | | | | | 森町中山間地域農業振興協議会では中間地域における今後の農業振興の方向性を検討しており、茶価の低迷もあり転換作物の検討も行っている。平成23・24年度には栗の実証圃場を設置し、平成26・27年度には蒟蒻(在来種)普及のための種芋購入補助を行っている。平成27年度においては栗実証圃場の巡回指導のほか東京よりメーカーを招いて焼き栗機による加工試食会を行った。 また、栗と蒟蒻の生産先進地(長野県喬木村・岐阜県中津川市)の視察研修も行った。 | 平成28年度も森町中山間地域農業振興協議会では先進地視察研修や実証圃場の巡回指導、栗の販売方法を検討するための加工試食会など行う予定。新たな試みとしては、産業祭「もりもり2万人まつり」へ出店し、焼き栗の実演やアンケートを行い、消費者ニーズを調査する予定。最終的に出荷より利益率の高い加工した形での直売等の販売スタイルを目指す。 |
| | | | 森林資源活用産業創出 | 産業課 | 実績 | B | | | | | 間伐材の利活用として平成32年に開催される東京オリンピックでの県産材の新たな需要創出を契機に、その利活用の条件となっている世界基準の森林認証取得に向けた取組を県と町、森林組合ともに検討してきた。H28は認証取得に向けて取り組む。 | H28は、県、町、森町森林組合及び掛川市、掛川市森林組合とが一体となった認証推進協議会中遠地区部会を立ち上げ、年度内の認証取得を目指す。 |
| | | | 地域ブランドの確立 | 産業課 | 実績 | A | | | | | 町内には「遠州森の茶」や原産地とされている「治郎柿」、静岡県知事より野菜指定産地とされている冬レタスなど多くの地域ブランドとして確立している農産物がある。 平成27年度においては例年発行している「遠州とうもろこしMAP」の更新に加え、㈱シーポイントの協力によりスマホ向けのデジタルマップへの掲載を行い、初夏の名産となっているトウモロコシの産地PRを行った。 また、遠州中央農協と生産者で組織する森町究極のコシヒカリ研究会ではブランドの確立を目指し、しずおか農林水産物認証を取得した。 | 平成28年度においても、前年より継続してスマホを利用したトウモロコシ直売所情報の提供(地図情報アプリ「LINK」)を行うほか、町産業祭へ農林業経営者会、JA等関係各団体の出店によりそれぞれの産物の振興とブランド確立に努めていく予定。 また、生産者、事業者、行政、JAで組織し「遠州森の茶」のブランド振興を図る森町茶業振興協議会では、本年度新たな試みとして新規市場開拓を目指し、北海道への展開を検討する。 |
| | | | 急須でお茶を飲む町づくりの推進 | 産業課 | 実績 | A | | | | | 森町茶業振興協議会では、平成26年度より町が県内一お達者度の高い町であることに着目し、町民の健康増進と茶葉の消費拡大を目指し「急須でお茶を飲むまちづくり」を推進してきた。平成27年度においては、合併60周年記念事業の一環として、緑茶に親しみながら交流の場を提供する「茶フェ」イベントを全3回実施し、参加者数は合計で615人であった。 また、合併60周年記念式典の記念品の一つとして、森の茶らしい中蒸しの高級煎茶入りの記念缶茶作成も行った。 さらに茶業振興協議会が天浜線遠州森駅前に設置している「遠州森の茶」公告看板のデザインを「急須でお茶を飲む町づくり」をモチーフとした内容に刷新した。 | 前年度より継続して役場本庁舎や望月プラザへの懸垂幕の設置やパンフレットの作成、新成人への記念品として急須と森の茶セットの支給、新婚家庭への急須のプレゼントにあわせ森の茶の支給など行い「急須でお茶を飲む町づくり」を推進する予定。 また、町並みと蔵展や産業祭等の場で「森の茶フェ」スタイルで出店し、町内外ヘリーフ茶の再認識を啓発するとともに、緑茶由来の健康長寿をPRする予定。 |

森町 まち・ひと・しごと創生総合戦略 進行管理表

| 基本目標 | 施策の展開方向 | 具体的な施策 | 事業 | 担当課 | 区分 | 進行管理(効果見込) ※基本指標・KPIは、実績値を記入 ※事業ごとの実績欄選択肢 S:計画以上に進捗した A:計画通り進捗した B:概ね計画通り進捗した C:計画通り進捗しなかった | | | | | 平成27年度 の取組実績 | 平成28年度 の取組方針 |
|------|--------------------|--------------|-------------------------------|--------------|-------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------|------|------|------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| | | | | | | 27年度 | 28年度 | 29年度 | 30年度 | 31年度 | | |
| | | | 茶園における作物転換の検討 | 産業課 | 実績 | A | | | | | 中山間地域農業振興協議会では、耕作条件の不利な中山間地域でも持続性の高い転換作物として栗・蒟蒻の実証的な栽培に対し苗木や種芋の支給等といった形で支援を行ってきた。平成27年度には、茶園転換の新たな作目として薬草栽培やオリーブ栽培に着目し、森町農業技術指導連絡協議会で県内の先行事例を視察研究した。 | 当町内では、平成27年度より数件の農家が薬草(シマサイコ)の契約栽培を行っており、一部には茶園転換の圃場もある。茶園転換の場合には酸性土壌の改良が必要であるものの、傾斜地にも作付けが可能であり、転換作物としての可能性はあると考えられる。本年度は県農林事務所の主催する中遠地域農業振興協議会の補助事業を利用し、森町農林業技術指導連絡協議会事業の一環として薬草栽培圃場における省力化技術を実証するための資材支給を行う予定。 |
| | | | ②商工業の振興 | 産業課 | 実績 | B | | | | | 森町商工会が実施する創業個別相談会など商工会と連携して創業者の支援を行った。(年4回実施) | 商工会や金融機関と連携して創業支援計画の策定や創業者の相談窓口の一本化を検討する。 |
| | | | 商工会等への支援 | 産業課 | 実績 | A | | | | | 商工会の運営費補助金として4,900千円の補助と軽トラ市や婚活事業など商工会が主体となって行っている商工業振興事業に「もりまちの商工業を元気にする事業」として1,200千円の補助を行った。 | 商工会への支援については、運営費補助金と「もりまちの商工業を元気にする事業」を中心に支援を行う。また毎月実施している商工業事務連絡協議会(産業課と商工会)を通じて、情報交換等連携を取っていく。 |
| | | | 遊休農地の有効利用促進 | 産業課 | 実績 | C | | | | | 農地中間管理機構などを利用し、遊休農地の有効利用の促進に取り組んだが、実績としては多くはなかった。 | 引き続き、農地中間管理機構などを利用し、農地の有効利用の促進をしていく。 |
| | KPI | 農業生産法人化数 | | 産業課 | 基準値 5社 目標値 10社 | 6社 | | | | | | |
| | (4)起業創業、新産業の進出等の支援 | ①起業・創業の支援 | 若者の就業支援 | 企画財政課 産業課 | 実績 | A | | | | | 森町商工会において、創業(開業)者向けの個別相談会を実施している。厚生労働省の委託事業として、地域若者サポートステーション(通称:サポステ)が浜松市に設置されており、個別相談の斡旋を行った。また、森町において相談会を1回開催した。 | 森町商工会において、創業(開業)者向けの個別相談会を実施している。今後も若者の就労支援については、サポステ浜松と連携を取りながら行っていく。 |
| | | | 金融機関と連携した中小企業向け融資制度や利子補給制度の充実 | 企画財政課 産業課 | 実績 | A | | | | | 地方創生の推進に向けた連携に関する協定書を金融機関と締結した。 ①森町と磐田信用金庫(27年10月21日締結) ②森町と静岡銀行(27年12月15日締結) 行政と金融機関が持つ情報やノウハウなどを共有し、まちづくりや産業振興などに活かすことが目的である。 町内の中小企業者等に小口資金や短期経営改善資金を貸し付けた金融機関に対して、予算の範囲内において利子補給金を交付した。 小口資金 平成27年度実績 624円 短期資金 平成27年度実績 0円 | 地方創生の推進に向けた連携に関する協定書を金融機関と締結した経緯を踏まえ、金融機関との情報共有に努め、企業のニーズに対応した制度の構築等を検討する。 町内の中小企業者等に小口資金や短期経営改善資金を貸し付けた金融機関に対して予算の範囲内において利子補給金を交付する。 また、商工会や金融機関と連携して、必要な中小企業向け融資制度や利子補給制度について研究する。 |
| | | | 広域周辺市町及び地域産学官金との連携 | 企画財政課 産業課 | 実績 | B | | | | | 遠州広域行政推進会議での議案に関連する勉強会等に参加し、広域連携の推進に努めた。 (議題:①健康寿命の延伸に向けた連携、②広域連携による文化財の保護と活用、③経済・産業政策の広域連携、④三遠南信特産品など) | 静岡県西部地域への移住・定住促進に向けた広域連携施策について検討する。各自治体が単独で出展やお試し移住ツアーなどを実施しても効果が薄いため、複数自治体での連携など、面的な対応について検討する必要がある。 |
| | | ②企業誘致・新産業の創出 | 内陸のフロンティアを拓く取組の推進 | 企画財政課 | 実績 | C | | | | | 町内で3つ指定してある推進区域のうち、中川下工業専用地域はほぼスケジュール通り、企業や県との調整を行うことができた。IC周辺地域については、企業局による開発可能性事前調査を陸奥にて実施したが、選定用地に課題があり現状では開発が難しいことが判明した。PA周辺地域については、県の推進アドバイザーによる町づくり意見交換会を実施し、地域住民の代表と意見を交換した。 | 中川下工専区域においては、森町・企業局・企業間で3者協定を締結し、年内の用地買収を計画している。 PA・IC周辺地域については引き続き県の事業推進アドバイザーによる会議の実施や、県が主催している開発事業者誘致説明会などを活用し、事業の推進に努める。 |
| | | | HPへの企業誘致特別ページの新設 | 企画財政課 | 実績 | B | | | | | HPの仕様や、コンテンツ、目的などを整理した。 | 業者委託契約により、HPを作成する。7月に入札を行い、業者を決定する予定。 |
| | | | 産業用地の確保 | 企画財政課 | 実績 | C | | | | | 企業局による開発可能性事前調査により、産業用地の候補地を検討した。 工専区域周辺の活用に向けて中川下工専区域内への道路を新たに整備するための国の交付金を確保した。 | 中川下工専区域の基盤整備を進め、工専周辺の産業用地の確保に努める。また、県と協力し、産業用地の確保に向けて適地の調査を行う。 |
| | | | 町有地・民間遊休地などの利活用 | 企画財政課 | 実績 | A | | | | | 町内の遊休地情報を町HPや県のHPにアップし、情報発信に努めた。また、天宮にて遊休工場に製造業の会社が新たに進出し、町内の雇用の増加につながった。 | 引き続き遊休地情報をHPなどで発信し、企業誘致に努める。また、遊休地の活用のために、町内の遊休地や工場適地の調査・整理を行う委託契約を予定している。 |
| | | | 雇用・設備投資などの支援体制の充実 | 企画財政課 | 実績 | B | | | | | 森町産業立地事業費補助金要綱を改正し、これまで工業地域などに限定していた補助地域対象を、町内全域に拡大した。また、内陸フロンティア推進区域においては、補助率のかさ上げを行った。 | 補助金のPRを行い、新規企業進出を支援する。また、現在の企業のニーズや操業体系に合わせて、必要に応じて要綱の制定や改正を行う。 |
| | KPI | 新規企業立地件数 | | 企画財政課 | 基準値 0件 目標値 3件 | 1件 | | | | | | |

森町 まち・ひと・しごと創生総合戦略 進行管理表

| 基本目標 | 施策の展開方向 | 具体的な施策 | 事業 | 担当課 | 区分 | 進行管理(効果見込) ※基本指標・KPIは、実績値を記入 ※事業ごとの実績欄選択肢 S:計画以上に進捗した A:計画通り進捗した B:概ね計画通り進捗した C:計画通り進捗しなかった | | | | | 平成27年度 の取組実績 | 平成28年度 の取組方針 |
|----------------------|---------|--------|----|-----|----|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------|------|------|------|-----------------|-----------------|
| | | | | | | 27年度 | 28年度 | 29年度 | 30年度 | 31年度 | | |
| 4.「安心」をつくる ～“森”との共生～ | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | |

森町 まち・ひと・しごと創生総合戦略 進行管理表

| 基本目標 | 施策の展開方向 | 具体的な施策 | 事業 | 担当課 | 区分 | 進行管理(効果見込) ※基本指標・KPIは、実績値を記入 ※事業ごとの実績欄選択肢 S:計画以上に進捗した A:計画通り進捗した B:概ね計画通り進捗した C:計画通り進捗しなかった | | | | | 平成27年度 の取組実績 | 平成28年度 の取組方針 |
|------|------------|---------------|---------------------------|--------------|------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------|------|------|------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| | | | | | | 27年度 | 28年度 | 29年度 | 30年度 | 31年度 | | |
| | | | 自主防災組織の充実 | 総務課 | 実績 | A | | | | | 27年度は、5月に中学校区単位で防災連絡会を実施し、情報交換を実施。8月の総合防災訓練時に自主防災会と行政職員の合同訓練を実施。内容は、避難所開設訓練、救護所開設訓練、ペット同行避難訓練等を実施。 | 28年度も、5月に中学校区単位で防災連絡会と9月の総合防災訓練時に自主防災会と行政職員の合同訓練を計画。 |
| | | | 地域及びテーマによるコミュニティ活動の充実 | 総務課 企画財政課 | 実績 | A | | | | | ①町民が安心安全な暮らしを実感できる地域社会を実現するため、町内会が設置する防犯灯に対し、補助を実施。 防犯灯設置費補助事業4,150,000円 ②コミュニティづくりの推進並びに社会教育の充実・向上を図るため、町内会が行う公民館整備(修繕)に対し、補助を実施。 町内会公民館整備補助事業500,000円 ③町民が自主的に行うコミュニティ活動の促進等を図るため、コミュニティ活動に直接必要な設備等(祭典用備品等)の整備をする町内会等に対し、補助を実施。 コミュニティ助成事業2,500,000円 ④町民の生活の足となっている天浜線の敷地等の美化活動について、引き続き、森町レールフレンドシップ事業に基づき、町内会や民間企業が主体となり、事業を実施し、コミュニティ活動の充実に努めた。(実施団体:3町内会、1民間企業) | ①町民が安心安全な暮らしを実感できる地域社会を実現するため、町内会が設置する防犯灯に対し、補助を実施。 防犯灯設置費補助事業4,140,000円 ②町民が自主的に行うコミュニティ活動の促進等を図るため、コミュニティ活動に直接必要な設備等(祭典用備品等)の整備をする町内会等に対し、補助を実施。 コミュニティ助成事業4,800,000円 ③27年度に引き続き、森町レールフレンドシップ事業を推進し、実施団体に対し、事業費補助を実施する。新たなテーマの発掘等についても調査研究する。 |
| | | ②協働を基礎とした行政運営 | 協働のまちづくり推進事業の充実 | 企画財政課 | 実績 | A | | | | | 協働のまちづくり推進事業実施団体に対する事業費補助の継続実施。27年度は森町合併60周年の記念の年であったため、合併60周年記念事業を新たに対象に加えた。実績としては、15団体に2,234,412円補助(具体的内訳は、地域活性化:3団体・400,579円、公共施設管理:7団体・354,862円、60周年記念:6団体・1,478,971円) | 協働のまちづくり推進のため、引き続き、事業実施団体に関する活動費の補助を実施する。また、協働に関する意識啓発のため、広報もりまちをはじめとする様々な媒体を活用し、協働に関する意識啓発を促進する。 |
| | | | 公共施設マネジメントの推進 | 企画財政課 | 実績 | B | | | | | 森町公共施設等総合管理計画の策定 (計画期間)2016年度～2045年度・30年間 | 当町における公共施設等の管理の実情を職員に把握してもらい、所管課による今後の施設管理の方針や個別計画策定等の基礎となるように、研修会等を実施する。 |
| | | ③ICT利活用推進事業 | インターネット先進地(視察) | 総務課 | 実績 | C | | | | | 平成27年度は、番号制度対応システム改修等がありJ-LIS主催の地方情報化推進フェアが開催されないなどで取り組みが進捗しなかった。 | ICT活用検討会でJ-LIS地方情報化推進フェアへの参加や先進地視察の検討を行う。 |
| | | | スマートタウンづくり | 総務課 | 実績 | A | | | | | 平成27年6月に、「子育て応援予防接種ナビ」をホームページ上に公開し育児に必要な情報提供を行えるシステムを構築した。 | 平成28年度から、ICT活用検討会を開催する。検討会の中でICTスマートタウンづくり繋がる事業を選別する。 |
| | KPI | ホームページのアクセス件数 | | 総務課 | 基準値 177,626件 目標値 250,000件 | 161,815件 | | | | | | |
| | (4)災害対策の推進 | ①防災資機材の充実 | 備蓄食料の計画的な購入・更新、可搬ポンプなどの更新 | 総務課 | 実績 | A | | | | | 27年度は、備蓄食料7,200食分の購入や、自主防用の可搬ポンプ9台、発電機12台、防災倉庫10台の更新を実施。 | 28年度も、備蓄食料の購入や、自主防用の可搬ポンプ、発電機、防災倉庫の更新事業を計画。 |
| | | | 実践的な防災訓練 | 総務課 | 実績 | A | | | | | 27年度は、8月の総合防災訓練時に自主防災会と行政職員の合同訓練を実施。内容は、避難所開設訓練、救護所開設訓練、ペット同行避難訓練等を実施。 | 28年度も、9月の総合防災訓練時に自主防災会と行政職員の合同訓練を計画。 |
| | | ③住宅の地震対策の推進 | 木造住宅の耐震化 | 建設課 | 実績 | B | | | | | 昭和56年5月以前に建築された木造住宅の耐震補強工事等に補助金を助成している。 1. わが家の専門家診断事業 34件 2. 木造住宅補強計画策定事業 9件 3. 木造住宅耐震補強助成事業 5件 | 1. わが家の専門家診断事業 30件 2. 木造住宅補強計画策定事業 6件 3. 木造住宅耐震補強助成事業 6件 平成28年度当初予算ベース |
| | | | 家具の固定の推進 | 総務課 | 実績 | C | | | | | 27年度は、要援護者家庭23世帯と一般家庭18世帯計41世帯の実施。 | 28年度も、要援護者家庭世帯と一般家庭世帯の補助事業を計画。 |
| | KPI | 住宅の耐震化率 | | 建設課 | 基準値 74.7% 目標値 90% | 74.7% | | | | | | |